

# 会 議 録

## 1 会議名

令和8年度第1回柿崎区地域協議会

## 2 議題(公開・非公開の別)

### (1) 協議事項 (公開)

・令和8年度の地域協議会だより発行について

### (2) 報告事項 (公開)

・令和8年度柿崎区における主な事業について

### (3) その他 (公開)

## 3 開催日時

令和8年4月21日(火) 午後6時30分から午後7時23分まで

## 4 開催場所

柿崎コミュニティプラザ 3階 305～307 会議室

## 5 傍聴人の数

0人

## 6 非公開の理由

なし

## 7 出席した者(傍聴人を除く) 氏名(敬称略)

- ・ 委 員：吉井会長、中村副会長、石田委員、金子委員、小出委員、小山委員  
坂木委員、佐藤(達)委員、佐藤(ま)委員、山川委員
- ・ 事務局：柿崎区総合事務所 新部所長、小林次長、片岡次長  
荻谷産業グループ長、横尾建設グループ長  
石川市民生活・福祉グループ長、渡邊教育・文化グループ長  
長井地域振興班長、熊木副主幹

## 8 発言の内容(要旨)

**【小林次長】**

- ・地域協議会の開会を宣言。
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会議の運営は会長が行う旨を説明。

**【吉井会長】**

- ・会長挨拶。
- ・会議録署名委員に中村副会長を指名。
- ・次第4の協議事項に入る。(1)令和8年度の地域協議会だよりの発行について協議する。先月事務局から説明があった。1か月後に皆さんの意見を聞いて決めたいということであった。配布方法については、全戸配布で行くということであったと思う。また、年間3回発行というところまで決まっていたかと思う。

**【佐藤（ま）委員】**

- ・回数までは決まっていなかったと思う。ここに旧編集委員と新編集委員がいるので、形式的な内容を決める前に、2年間の総括として反省と編集委員でなかった委員から見た地域協議会だよりの在り方を自由討論して、その後どういう形にするのかは、私は新しい編集委員にお任せしても良いのではないかと考えている。せっかくこの場所があるので、こういうところが大変だったとかこういうところが成果だったということを出し合って、それを次の編集への参考にしていれば良いのかと思う。

**【吉井会長】**

- ・前期の編集委員の意見を聞ければと思う。石田委員いかがか。

**【石田委員】**

- ・私は編集委員として挿絵のレイアウトを担当した。活字だけだと固いので、少しは柔らかくなるように心がけながら取り組んだ。編集会議で発行回数に縛られるとどうしてもやらなければいけなくて、ネタをどうしようかというところで難しかった。回数に縛られず皆さんの発想で取り組んでいければ、良いのではないかと思う。

#### 【吉井会長】

- ・基本的に発行回数は決まっていない。編集委員の皆さんに任せている。発行回数は次期編集委員が情報を集めて、編集して、発行するという形で良いと思う。小出委員いかがか。

#### 【小出委員】

- ・編集長を中心に闊達な意見が出されていた。私が書いた保育園と小学校の統合の概要を紹介した回については、「とてもよく分かった。」「わかりやすかった。」と知り合いから言ってもらえた。行政でも発信していることを発信することになってしまうこともあると思うが、いろいろな媒体から伝えることも必要なことだと思っている。重なるということを感じなくても良いのではないか。

#### 【小山委員】

- ・さきほど回数に縛られないということであった。私も賛成である。発行してから、あまり進展がない時に発行期日が来たりしたこともあったので、区民に知っていただきたい、伝えたいという情報が出たときに発行するので良いのではないかと思う。

#### 【佐藤（ま）委員】

- ・小学校4年生が読んでも分かる内容にしようということを合言葉に皆さんに努力していただいた。やはり内容的に難しくなりがちだが、それでも皆さんが自分の語彙力を少し下げて原稿を書いてもらったことはありがたかった。編集長と書いてあることから意見をいただくことが多いという実感があった。私に対する意見は、「柿崎山岳会がこんな仕事をしていたのが、わかりました。」というのがとても多くて私も驚いた。私たちの活動に直接関わらない部分があっても、目に見えないところを拾って行くことも大事だと感じた。もう一つは小学校のことを書いたことに対して、「どういうふうに進んでいるか、すごく筋道が分かりました。」という母親、祖父母からの意見もいただき良かったと思った。
- ・昨年も今年も全員が揃うということがなかなか難しく、それだけ皆さんが忙しい中、集まってくれているのだと実感した。もう一つ、今年は事務局の長井班長に苦勞いただくことが多く感謝する。とても心強いので、頼るところは頼ると良い。

- ・これから、こうしたら良いのではないかというアイデアもここで出していただいて、紙質や発行回数というのは新しい編集委員にお任せするという形で良いと思う。

**【吉井会長】**

- ・現在の編集委員の意見をいただいた。これから編集委員になる皆さん、意見あるか。金子委員いかがか。

**【金子委員】**

- ・ない。

**【吉井会長】**

- ・山川委員、何か意見あるか。

**【山川委員】**

- ・地域協議会に参加するまでは、すべて目を通したかと言われると、さっと見るか見ないかくらいで終わっていた。地域協議会に参加するようになって、見るようになった。さきほど佐藤（ま）委員長が言ったように、読みやすいという観点から非常にわかりやすく、読み応えもあり良い広報紙だなと思った。次回から編集委員の一人としてやっていかなければいけないが、そういったことを参考にしながら、紙面を作って行けたらと思っているところである。

**【吉井会長】**

- ・佐藤（達）委員いかがか。

**【佐藤（達）委員】**

- ・意見ではないが、今回3回発行されていずれも内容が素晴らしいと思った。編集後記を楽しみに読ませていただいていた。自分にはこんな文章が書けないと感心して見させていただいた。発行部数については、皆さんが言ったとおりノルマを決めるのではなくて、報告する内容があるタイミングで適宜発行するの  
で良いのではないかと思う。

**【吉井会長】**

- ・坂木委員いかがか。

**【坂木委員】**

- ・少し心配な面があるので、良いアドバイスがあったらお願いしたい。

**【吉井会長】**

- ・中村副会長、いかがか。

**【中村副会長】**

- ・良くまとめてあった。読んで面白い地域協議会だよりになっていたと思う。今度、私たちが委員になる訳だが、あのようになれるか心配である。

**【吉井会長】**

- ・地域協議会だよりをこれから2年間作成して、編集して、発行して行く訳だが、我々の活動を落とし込む訳なので、活動が活発ならば記事がたくさん出る。活動が滞ると記事が書けない。要するに活動次第というところがあるので、いろいろ活動をしていただきたいと思う。
- ・それでは、佐藤（ま）委員長も言ってたが、何回出すとか紙をどうするかというのは次期編集委員に任せて良いのではという意見をいただいたが、いかがか。  
(意見なし)
- ・それでは、本日地域協議会終了後、次期編集委員が集まるのでそこに任せることにしたいと思うが良いか。  
(意見なし)
- ・それでは、令和8年度予算内に入るようにして決めて行きたい。
- ・次の議題に移る。報告事項(1)令和8年度柿崎区における主な事業について、説明をお願いします。

**【小林次長】**

- ・令和8年度の柿崎区における主な事業について説明する。  
(資料1により総務・地域振興グループの主な事業について説明)

**【荻谷産業グループ長】**

(資料1により産業グループの主な事業について説明)

**【横尾建設グループ長】**

(資料1により建設グループの主な事業について説明)

**【石川市民生活・福祉グループ長】**

(資料1により市民生活・福祉グループの主な事業について説明)

**【渡邊教育・文化グループ長】**

(資料1により教育・文化グループの主な事業について説明)

【吉井会長】

- ・総合事務所の各グループ長から報告があった。委員から質問はあるか。

【小出委員】

- ・全体として予算がない中、修繕が大変だと感じているところである。農村公園の管理のところで撤去費用の説明があった。撤去した後に新しい遊具を設置する費用は入っていないのか。また、コミュニティプラザについて、廊下の窓のストッパーがなくなっている。補修費を取るのが大変なのかと最近感じている。でも安全は確保してほしい。オリロー（緩降機）があるということは、いざという時に窓を開けてそこから降りるということは、その窓が開けやすくなかったら大変である。地区公民館の冷暖房が1年間直らなかつたということもあつたので、予算が苦しい中でやっているのはよくわかるが、安全は確保してほしい。

【荻谷産業グループ長】

- ・令和8年度予算については、遊具の撤去費用しか見ていない。地元の町内会長とも話をしながら整備計画を進めて行かなければいけないが、子どもの数が少なくなっているのが現状であり、保育園の統合や小学校の統合がある。地域で遊ぶ子どももいるかもしれないが、今後どこで遊ぶのかということも含めて必要性を検討する。遊具を設置すれば来ていただけるとは思うが、そこは地元の町内会長と話を進めながら必要な遊具を予算要求して行かなければいけないと思っている。

【小林次長】

- ・コミュニティプラザの関係の昨年度における予算計上についてどのようになっているかわからないが、基本的には安全であるとか、緊急である部分については、予算要求の段階では十分に検討させていただいているはずである。その中で優先順位を付けながら市の財政課では予算を付けていると思っている。ただ、小出委員ご指摘のように様々な施設で老朽化であったりする部分もあるので、総合事務所としては当然その部分では予算要求を続けていかなければいけないと思っている。その判断を見ながら今年度も予算要求をして行きたい。

【小出委員】

- ・農村公園の新たな遊具の設置については、子どもが減っている中、どこで遊ぶ

のか、そこが農村公園というのは意外であった。児童遊園もあれば都市公園もあり農村公園もある。いろいろな課でやっていて連携が取りにくいのかと思う。子どもにとって遊ぶところは別に何課であるかは関係ない。子どもが減っているとはいえ、大事な子どもたちが野外で遊ぶ場所が貴重になってきていると思うので、ぜひ連携を取って、子どもたちがどう遊ぶのかを町内会長はもちろん、母親、父親、学校の先生たち、皆さんの力を合わせて少ない予算の中で効果的な遊び場づくりを目指していただきたい。

- ・また、庁舎やコミュニティプラザに関しては、危ないところがあったら直せなくても「危ない」という掲示とか、「注意してください。」とわかりやすく表示してほしい。

#### 【吉井会長】

- ・小出委員から質問があった。ほかの委員から質問等ないか。  
(質問等なし)
- ・2点質問がある。一つは16番の柿崎マリンホテルハマナスの管理運営費についてだが、これについて以前から私は柿崎区にとって懸案ではないかと思い指摘している。これは総合事務所の職員に話す内容ではなく、観光施設課の話になると思うが、一般修繕で約1,180万円、指定管理業務で1,460万円、合計約2,600万円である。現在、地域の人がほとんど使っていない。我々の血税が年間2千万円つき込まれているということを考えると本当に上越市のために、柿崎区のためにマリンホテルが必要なのだろうか。常々考えている。これだけお金がないと言っている中で市民が使わない施設を年間約2,600万円もかけて存続して行く意義があるのか。これは私の意見である。
- ・もう1点、26番の多世代交流プレイス運営事業について、今回の小菅市長の目玉事業で柿崎区にやっていただけるということで非常にありがたい事業であるが、この概要が我々にも、区民にも公表されていない。いつ頃になったら、どういう形で運営になるのか、できれば早い時点で概要でも良いので報告願いたい。今、報告できるものはあるのか。

#### 【石川市民生活・福祉グループ長】

- ・内容の公表であるが、早ければ来月くらいに地域協議会で概要を説明させていただくことになる。

**【吉井会長】**

- ・皆さん期待しているので概要でも良いので早い時点をお願いする。

**【新部所長】**

- ・多世代交流プレイスの関係については、担当部局、市長と協議を進めている最中であると理解している。来月の地域協議会で説明できるように今、担当部局で整理している状況である。おそらく来月には何らかの形で説明できると思っている。それから、マリンホテルハマナスの関係で会長から意見をいただいた。これも先月、資産活用課から適正配置計画の進め方等について説明があったかと思うが、そういった計画の中でマリンホテルハマナスの有り様の検討を進めて行くような状況になっているので、ご意見として受け止めさせていただき、私から担当課にお伝えしたいと思う。

**【吉井会長】**

- ・以上で報告事項を終了する。その他会議の日程等について事務局から説明をお願いする。

**【長井班長】**

- ・次の会議の開催日程を説明する。
  - (1)第1回地域協議会だより編集委員会
  - (2)令和8年度第2回柿崎区地域協議会(当日配布物について説明)

**【吉井会長】**

- ・それでは、地域協議会をこれで閉会とする。

**【中村副会長】**

- ・地域協議会の閉会を宣言。  
(午後7時23分閉会)

9 問合せ先

柿崎区総合事務所総務・地域振興グループ

TEL : 025-536-6701 (直通)

E-mail : kakizaki-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。